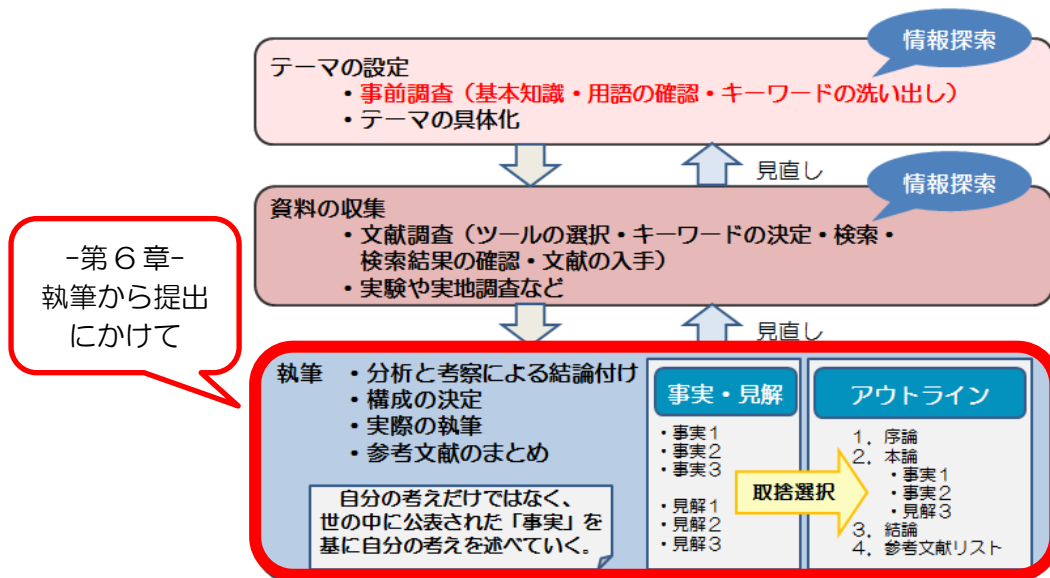


第6章 よいよいレポートを目指して ～引用と提出前のチェックポイント～

ここまでは、レポートの作成方法と様々な資料の探索方法を学んできました。第6章では、様々な資料から集めた事実やデータを、レポート本文に利用する方法である「引用」を学びます。レポートを書く際のルールであり、説得力を高めることにもつながる、正しい引用方法を身につけて下さい。また、レポートを書きあげたら、提出前にレポートに必要な要件や内容を再確認することを忘れてはいけません。説得力があり、わかりやすいレポートを目指しましょう。

レポート作成の手順



1. 引用とは～信頼性と説得力を高めるために～

1.1 なぜ引用を行うのか

「引用」とは、様々な文献から得た事実やデータ、意見などを自分の文章の中で紹介することを指します。レポートを書く時には、本文を全て自分の意見で埋める必要はなく、引用を行いながら自分の主張を展開していくことができます。引用は、ただやみくもに行うのではなく、自分の主張のオリジナリティをアピールする、自分の主張の根拠とする、自分の主張を補強するために行います。信頼性の高い情報を効果的に引用すれば、レポートの説得力を高める効果があるのです。

引用の目的¹⁾

- ①オリジナリティを高める
- ②自説の根拠にする
- ③自説の応援団にする
- ④自説の仮想敵にする

正しく引用することの効果

・信頼性、説得力の向上

1.2 引用文献と参考文献の違い

「引用文献」や「参考文献」という言葉を聞いたことがあると思います。第5章でも参考文献リストの書き方を学びました。分野によっては両者を区別せずに「参考文献」と呼ぶこともあります。ここで改めて整理しておきましょう。

引用文献は、レポートの本文中で言及した文献を指します。参考文献は、レポートの本文で言及はしていないが執筆の過程全体を通じて利用した文献を指します。

第6章では、引用を正しく行う技術を身につけてもらうためにも、引用文献と参考文献を区別して扱います。

引用文献と参考文献の違い

引用文献：レポートの本文中で言及した文献

参考文献：レポートの本文で言及はしていないが、執筆の過程全体を通じて利用した文献

※両者を区別せずに「参考文献」と呼ぶこともある

2. 正しい引用とは～レポートや論文の基本ルール～

2.1 引用の条件

引用を行う時は、引用する他の資料を正確に理解し、著作権法で定められている以下の引用の条件を満たす必要があります。正しく引用を行うことは、文章を書く際の基本的なルールです。

引用した文献を示さずに、他人の文章を本文中に書くこと（いわゆるコピーレポート）は盗作・剽窃（ひょうせつ）にあたるもので、絶対に行ってはいけません。引用するときには、引用だとはっきりわかるように書き、必ず引用した文献の情報（出典）を明記してください。

引用の条件²⁾

- ①引用の必然性があること
- ②自分の文章が主で、引用が従であること
- ③自分の文章と他人の文章を括弧でくくるなどして、区別すること
- ④引用した著作物の出典を書くこと

2.2 引用文献の示し方

引用を行った時には、引用箇所と引用文献リストに、引用した文献の情報を記述する必要があります。引用した文献の示し方には、「著者名・発行年方式」と「引用順方式」があります。

学問の分野や指導教官によってどちらの方式を採用するかが異なるので、レポートを課された時に指示があればそれに従ってください。

著者名・発行年方式

…本文での引用箇所に著者名と発行年、ページを記述し、引用（参考）文献リストには著者名・発行年順に文献を記述する

例) 酒井(2007,P.138) は、ある特定の文献のおかげで知り得たことを書く際には引用が必要であると述べている。

<引用文献>

酒井聡樹. 『これからレポート・卒論を書く若者のために』. 東京, 共立出版, 2007, p.138.

引用順方式

…本文での引用箇所に引用順に番号を振り、引用（参考）文献リストにはその番号順に文献を記述する

例) 酒井¹⁾ は、ある特定の文献のおかげで知り得たことを書く際には引用が必要であると述べている。

<引用文献>

1)酒井聡樹. 『これからレポート・卒論を書く若者のために』. 東京, 共立出版, 2007, p.138.

2.3 引用文の作成方法

引用の条件にもあったように、引用する時は自分の文章と他人の文章を区別して記述下さい。ここでは、「引用順方式」での記述方法を紹介します。

- (1) 引用文が短い場合…「 」を使って本文中に埋め込みます。「 」の中は、引用文献の記述をそのまま書きます。

外国人力士は、単に外国人だから強いというわけではない。その点について中島隆信は次のことを指摘している。「小錦、曙、武蔵丸のハワイ出身力士に共通することは、(中略) いずれもハイスクール時代にアメリカンフットボールやバスケットボールで鍛え、しかも選抜要員に選ばれるくらいの名選手であったのだ」¹⁾。このことは、…

<引用文献>

- 1)中島隆信.『大相撲の経済学』. 東洋経済新報社, 2003, p.62.
- 2)武田頼政.『大相撲改革論』. 廣済堂あかつき出版事業部, 2011, p.190.

引用文は、そのまま引用するのが大原則ですが、やむを得ず一部分を省略したい時は「(中略)」や「(・・・)」などの記号を入れます。

この問題は「唱和(ママ)50年代の終わり頃から表面化し、新聞等でも報道され始めた」¹⁾といわれ、このことは…

<引用文献>

- 1)XXXX.『YYYY』. AAA 出版社, 2002, p.151.
- 2)酒井治郎.『二世紀初頭十年の大相撲：無気力相撲と不祥事・難題続出に寄せて』. 2011, 文芸社, p.245.

出典に明らかな誤字・脱字等があってもそのまま引用するのが基本です。ただし、出典のまま引用していることを示すために、横か上に小さく「(ママ)」という記号を入れます。

(2) 引用文が長い場合...引用文の前後を1行空け、さらに左側に2~4文字分空白をとり、引用文献の記述をそのまま書きます。「 」は必要ありません。

引用箇所の左側を2~4文字下げ

について、次の新聞記事を参照してみよう。

引用箇所の前後を1行空ける

国技館が蔵前から両国に移った85年当時は千代の富士の全盛期で、90年代も若乃花・貴乃花の兄弟フィーバーに沸き、90年初場所から97年夏場所初日までは、満員御礼が途切れない活況が続いた。しかし、景気悪化もあって98年ごろから残券が増え、暴力問題で朝青龍が引退に追い込まれた2010年初場所後は、一日平均で2000枚以上が売れ残った。¹⁾

引用箇所の前後を1行空ける

つまりここでは原因とされるのは、…

<引用文献>

1) 「大相撲秋場所 国技館 連日の不入り 八百長、震災、不況…」、『読売新聞』2011年9月17日、東京夕刊、p.13.

(3) 要約して引用する場合…引用を行う時は、必要な部分のみを正確に行うというのが大原則です。もし要約して引用する場合は、引用文献の著者の主張を歪めたり、読み手に誤解を与えたりしないようにして下さい。また、どこからどこまでが引用かわかりにくくなるので注意が必要です。

大相撲における八百長について、朝日¹⁾は、相撲のスポーツとしての側面を否定し、その存在意義を揺るがす致命的な行為であると指摘している。

<引用文献>

1)朝日のぼる。『YYYY』。AAA 出版社、2002、p.151.

(4) 文献の存在を示す場合…引用文献の内容は紹介せずに、参照した文献の存在を示す場合もあります。

この問題の取り組みに関しては、中島¹⁾や武田²⁾の研究がある。…

<引用文献>

1)中島隆信.『大相撲の経済学』.東洋経済新報社,2003,p.62.
2)武田頼政.『大相撲改革論』.廣済堂あかつき出版事業部,2011,p.190.

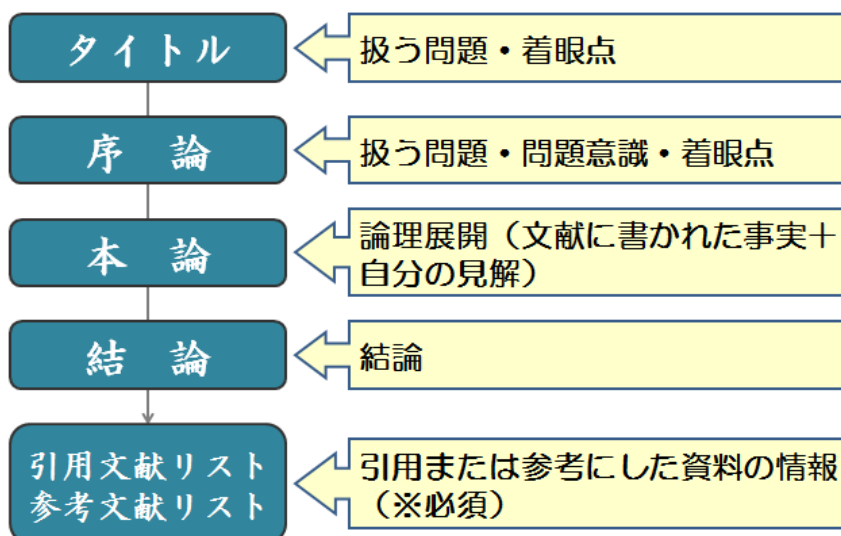
3. レポートに必要な要件や内容の再確認

3.1 客観的にチェックしてみよう

レポートを書き上げたら、必ず全体を見直して内容や構成、参考文献の記載方法などをチェックしましょう。タイトルや序論には入れるべき要素があり、参考文献についても記載すべき項目が決まっています。必要な項目が含まれているか、わかりやすい流れになっているか確認しましょう。チェックポイントを章末の『レポート作成 チェックリスト』にまとめてみましたので、活用して下さい。

また、他人に自分のレポートを読んでもらうというのも一つのチェック方法です。自分では見逃しがちな点を指摘してもらえたり、自分のレポート内容を説明することで、改めて自分の考えを整理できたりするメリットがあります。

レポートの構成



3.2 レポートはこんなところが評価されます

まず、提出期限や提出方法、文字数などの指定された事項をきちんと守ることが必要最低限のマナーでありルールです。これらがきちんと守られていて、初めてレポートを読んで評価してもらえるのです。レポート本文の評価は、誤字・脱字がないか、項目立てを行っているか等の形式に関するポイント、結論が明示されているか、論理が飛躍していないか等の内容に関するポイントを基に行います。

執筆中や提出前の見直しを行う際には、これらの評価ポイントを意識してみてください。

レポートの評価ポイント

- ・タイトルは内容に即しているか
- ・序論・本論・結論などの項目立てはあるか
- ・引用文献・参考文献リストが正しく記載されているか
- ・正しく引用しているか
- ・誤字・脱字がないか、字数制限は守られているか
- ・結論が明示されているか、論理が飛躍していないか
- ・わかりやすい文章になっているか
- ・
- ・
- ・

引用文献

- 1) 石黒圭. 『論文・レポートの基本：この1冊できちんと書ける!』. 東京, 日本実業出版社, 2012, p.197.
- 2) 藤田節子. 『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』. 東京, 日外アソシエーツ, 2009, p.129.

参考文献

- 1) 二通信子 [ほか]. 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』. 東京, 東京大学出版会, 2009, 218p.
- 2) 石井一成. 『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』. 東京, ナツメ社, 2011, 215p.

『レポート作成 チェックリスト』

～レポートとは何か～

■レポートの要件

- 何らかの、学術的・社会的問題を扱っており、それに対する回答を示していること

↓

「問い」

↓

「問い」に対する「自分の主張」と「主張に至る論証」

- ×自分の思いや考えをただ綴るものではない (ex.感想文、作文、随筆)
- ×自分が満足するためのものではない (⇒読み手を満足させるためのもの)
- ×お役立ち情報ではない (ex.調べたことを書くだけ)

■学術的・社会的問題とは

- その解決に、学術的・社会的な意義がある
- 多くの読者が興味・関心を持ってくれること

■レポートで書くべき事

- 扱う問題
 - 問題意識
 - 着眼点
 - 論理展開
 - 結論
- 「問い」
- 主張に至る論証
- 自分の主張

■レポートの形式

- タイトル
 - 序論
 - 本論
 - 結論
 - 引用文献リスト・参考文献リスト
- 内容がわかりやすいよう
小見出しをつける

※結論は、本論のまとめではなく、「問い」に対する答えになっていること！

～タイトル、序論の書き方～

■タイトルに入れるべき情報

- 扱う問題
- 着眼点

■序論で書くべき事

- 何を前にして (前提となる事実、執筆動機)
- 扱う問題 (どういう問題に取り組むのか)
- 問題意識 (どうして取り組むのか、その問題を解決するとどんな良いことがあるか)
- 着眼点と着眼理由 (解決の糸口)
- 何をやるのか (取り組んだ問題を解決するためにやったこと)

～説得力のある主張、わかりやすい文章とは～

- 説得力のある主張とは
 - そう主張する理由（根拠）を述べている
 - 客観的な事実に基づいて理由を述べている
 - 理由は論理的である
 - 他の主張に比べ、その主張の方が確からしい

- 文章の基本的な構成要素
 - 前もって説明しておきたいこと：前の章や段落にある時は不要
 - 扱う話題
 - 論の組み立て：回答を導く論理。「説明=回答」になる場合、論の組み立ては不要なこともある
 - 扱う話題に対する回答：説明がそのまま結論となる時もある（ex. 扱う話題が「体内時計とは何か」だった場合、回答はその説明になる）
 - 回答を受けての補足：必要な時のみ書く

- 文章全体としてわかりやすくするコツ
 - 無駄な情報を削る
 - 一つの章では一つの大きな話題、一つの段落では一つの話のみ扱う
 - 何の話をするのかを前もって知らせる（見出しをつける、冒頭で扱う話題を明示する）
 - 読者が知らないであろうことは説明する
 - 重要なことから述べる

- わかりやすい文にする技術
 - 一つの文で一つのことだけを言う
 - 語と語との修飾関係を明確にする

～引用について～

- カギカッコなどを使って、自分の文章と引用文とを区別する
- 引用した文献（＝出典）を明示する

提出前にもう一度チェックしましょう！

- 指示されたレポートの形式を満たしていますか？
- 指示された字数制限を守っていますか？
- 誤字脱字はありませんか？
- 引用文献・参考文献は正確に記載されていますか？

出典：酒井聡樹. 東北大学全学教育科目「『レポート力』アップのための情報探索入門」第2～4週配付資料. 「レポート作成法①～③」.

第6章 実習問題

引用

問題1 次のうち引用の仕方として適切なものを全て選んで下さい。

- ① 石黒によれば、引用の問題点は、「どこまでが他者の引用で、どこからが書き手本人の主張なのかがわからなくなること」¹⁾であるという。
- ② 石黒²⁾によれば、引用の問題点は、「論文を読んでいて困るのは、どこまでが他者の引用で、どこからが書き手本人の主張なのかがわからなくなること」だと思われる。
- ③ 引用の問題点について石黒²⁾は、「論文を読んでいて困るのは、どこまでが他者の引用で、どこからが書き手本人の主張なのかがわからなくなること」であると述べている。

問題2 次のうち引用の仕方として適切なものを一つ選んで下さい。

- ① 酒井²⁾は以下のように指摘している。

「言い方を換えると、ある特定の文献のおかげで知り得たことかどうかである。
(中略) 誰かが調査して報告したからこそ、情報として利用可能になっているのだ。ある特定の文献のおかげで知り得たことなので、引用が必要である。」

つまり、誰もが知っている自然現象や一般常識については引用の必要がなく…

- ② 酒井²⁾は以下のように指摘している。
言い方を換えると、ある特定の文献のおかげで知り得たことかどうかである。(中略) 誰かが調査して報告したからこそ、情報として利用可能になっているのだ。ある特定の文献のおかげで知り得たことなので、引用が必要である。
つまり、誰もが知っている自然現象や一般常識については引用の必要がなく…

- ③ 酒井²⁾は以下のように指摘している。

言い方を換えると、ある特定の文献のおかげで知り得たことかどうかである。
(中略) 誰かが調査して報告したからこそ、情報として利用可能になっているのだ。ある特定の文献のおかげで知り得たことなので、引用が必要である。

つまり、誰もが知っている自然現象や一般常識については引用の必要がなく…

問題3 次の引用文の中で、引用文献の情報に下線を、引用文の作者の意見に波線を引いて下さい。

- ① 八百長を断固として否定する考え³⁾は、大相撲をスポーツととらえることに深く関係している。
- ② 八百長を断固として否定する考えは、大相撲をスポーツととらえることに深く関係している³⁾。

<引用文献>

- 1) 石黒圭. 『論文・レポートの基本：この1冊できちんと書ける!』. 東京, 日本実業出版社, 2012, p.199.
- 2) 酒井聡樹. 『これからレポート・卒論を書く若者のために』. 東京, 共立出版, 2007, p.138.